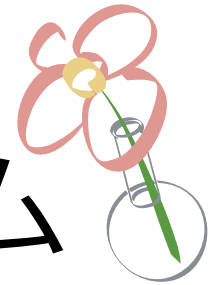


# 一般社団法人 関西科学塾コンソーシアム



関西の国公立6大学が、JST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の採択を受けて12年間運営してきた関西科学塾は、2017年秋に活動母体として一般社団法人「関西科学塾コンソーシアム」を設立いたしました。2022年度で17年目となります。

# 目次

---

## 1. 女子中高生のための関西科学塾

- 1) 背景と目的
- 2) 歴史
- 3) 実行委員会委員リスト
- 4) 年間活動スケジュール
- 5) これまでの活動実績例

## 2. 一般社団法人関西科学塾コンソーシアム

- 1) コンソーシアム設立の経緯について
- 2) 運営組織
- 3) 賛助会員企業を募集する目的・理由
- 4) 賛助会員のメリット
- 5) 連絡先情報



## 1) 活動の背景と目的

### 活動の背景

少子化が進む日本では、将来の理工系人材として、人口の半分を占める「女性」に新しい人材供給源としての注目が集まっています。大学や企業が理系女性研究者育成の重要性に気づき始めてから、すでに何年もたっていますが、女性研究者の数は遅々として増えません。

日本でなぜ女性研究者比率が低いのか、についての原因究明とその解決策のアクションも進められているところですが、**根本の問題として大学の理工系学部に入学する女子学生の数が少ないという問題**があります。世界の中で、日本の女性だけが理工系を敬遠する合理的な理由はなく、何等かの社会的要因があると考えざるを得ません。**年齢の低いときから、理系に興味を持つことを応援する雰囲気醸成することの重要性**がここに 있습니다。

このような社会的背景の中で、理工系の数十の学協会で作る男女共同参画学協会連絡会が、2005年に国立女性教育会館（埼玉県）を舞台として「女子中高生の夏の学校」を始めたのが、本活動のきっかけです。関西地区でも、学協会連絡会関係者有志が、2006年度から女子高校生を対象に理系のおもしろさを伝えるための活動を開始しました。

### 活動の目的

以上の問題意識のもとに、本活動は女子中高生に次のような働きかけをすることを目的としています。

- 理工系の学術分野のおもしろさを実験・実習を通して伝えること
- 理工系分野を好きな仲間が大勢いることを知らせること
- (女性に相応しい) 職業としてさまざまな理工系の仕事があることを知らせること



## 2) 活動の歴史

2005年夏に、男女共同参画学協会連絡会（以下、学協会連絡会と略す）が埼玉の国立女性会館において、全国から理科好きの女子高校生を集めて「女子高校生夏の学校」を開催したことがきっかけとなり、科学技術振興機構(JST)が翌**2006年度から**「女子中高生理系進路選択事業」を開始しました。そのとき関西地区の学協会連絡会メンバーが中心となり、この事業に応募し、採択されたのが「**女子中高生のための関西科学塾**」のはじまりです。以来毎年、このJST事業に高倍率の競争を勝ち抜いて採択され、**2017年度で12年目**となりました。関西地区の6大学が連携して取り組む活動として、数多くの採択機関の中でも突出して高い評価を受けています。当初は、春休みに1泊2日のイベントを開催するのみでしたが、参加者からの強い要望もあり、通年で複数回の実験・実習を実施する形に変わっていききました。また、実施場所として大学のキャンパスを使うため、実行委員の所属大学の強力な支援が必要な活動となっていきました。

実行委員の負担軽減を図るため、幹事校を持ち回りとし、当初の**神戸大学、大阪大学、京都大学、奈良女子大学**の4大学に、**大阪府立大学、大阪市立大学**が加わった6大学体制となりました。実行委員は、各大学の教員と工業高等専門学校教員、サイエンスカフェ等のNPO関係者などからなります。

**女子中高生や保護者の参加者は、年間のべ約800名（実数約500名）**にものぼり、関西地区だけでなく、中国・四国地方、中部地方からの参加者もいます。毎年参加するリピーターも増え、本科学塾の卒業生が活動を手伝ってくれるなど、長期間にわたって実施してきた活動実績が更なる発展に結びつきつつあります。

2018年度からは、JST事業としてではなく、賛助会員企業から会費を集めて**一般社団法人**が運営する形態に切り替わりました。

（補足）関西科学塾のロゴマークは、「理系（フラスコ）の中で女性（花）が活躍する（咲く）」ことを表したもので、本活動を手伝ってくれた大阪府立工業高等専門学校の学生の足立麻衣子さん(2007年当時)の作品です。



## 3) 実行委員会委員 (2022年度の例)

### 実行委員長

原田慶恵 (大阪大学蛋白質研究所教授)

### 実行委員

志賀尚子 (大阪大学理学研究科教授)

小田原厚子 (大阪大学理学研究科准教授)

藤原稔久 (大阪大学基礎工学研究科准教授)

米田 香 (大阪大学蛋白質研究所事務職員)

松岡由貴 (奈良女子大学大学院自然科学系准教授)

小林 毅 (奈良女子大学大学院自然科学系教授)

奈良久美 (奈良女子大学大学院自然科学系教授)

近江戸伸子 (神戸大学人間発達環境学研究科教授)

笠原俊二 (神戸大学分子フォトサイエンス研究センター教授)

中原朝子 (神戸大学インクルーシブキャンパス&  
ヘルスケアセンター助教)

掛谷一弘 (京都大学工学研究科准教授)

浅井 歩 (京都大学理学研究科准教授)

細越裕子 (大阪公立大学理学研究科教授)

森澤和子 (大阪公立大学工学研究科教授)

恩田真紀 (大阪公立大学理学研究科准教授)

中澤昌美 (大阪府立大学生命環境科学研究科助教)

安斎太陽 (大阪府立大学工学研究科助教)

後藤慎介 (大阪公立大学理学研究科教授)

益田春恵 (大阪公立大学理学研究科教授)

中谷敬子 (大阪公立大学工業高等専門学校教授)

榎木英介 (科学・政策と社会研究室・代表理事)

相馬芳枝 (元神戸大学特別顧問)

田島節子 (関西科学塾コンソーシアム、  
大阪大学名誉教授)

片山実紀 (関西科学塾コンソーシアム)



# 4) 年間活動スケジュール (2022年度の例)

## メインプログラム

保護者・教員対象の懇談会や  
見学会あり

6月：一括募集、抽選

7月：A日程 (定員80名) 大学で講演会 (女性研究者・技術者など)、学生との交流

8月：B日程 (定員25名) **企業**の研究所見学  
女性研究者との交流

10月：C日程(定員108名) 大学での実験を体験

11月：D日程(定員125名) 大学での実験を体験

12月：E日程(定員20名) **企業**の事業所見学  
女性技術者との交流

3月：F日程 (定員80名) 2日間で実験/考察/発表  
**企業**展示、OG企画



## アウトリーチ

一般の小中学生対象の科学イベント  
一般の中高生・保護者・教員対象の出張講演会

第17回女子中高生のための  
**関西科学塾**

参加費 無料  
理系大好き女子はもちろん、  
文系と決めている人も大歓迎!  
好きなプログラムを選んで申し込みを!

申込締切 2022年  
6月26日(日)  
お申し込みは  
Webサイトから

QRコード  
<http://www.kansai-kj.org/>

**A** 身近なロールモデルと気軽に話そう!  
大阪大学  
2022年7/30日  
対象: 中高生  
定員: 80名  
講演会  
はばたけ!女子中高生  
朝野 芳枝 元産業総合研究所研究員  
分子イメージング

**B** 一健康を支える医薬品研究の現場へ  
ロート製薬株式会社  
ロートリサーチビレッジ京都  
2022年8/3日  
10:00-13:30  
対象: 中高生  
定員: 25名  
\*医薬品研究所ツアー \*研究員とのコミュニケーションランチ

**C** 大学での実験を体験!  
大阪公立大学・京都大学  
2022年10/23日  
対象: 中学生  
定員: 108名  
\*実験・実習(日程未定)

**D** 大学での実験を体験!  
11/6 神戸大学・11/13 京大女子大学  
2022年11/6・13日  
対象: 高校生  
定員: 6日 58名  
13日 67名  
\*実験・実習(日程未定)

**E** サイエンスのワクワク、お伝えします!  
日東電工株式会社  
茨木事業所 inovas(イノヴァス)  
2022年12/26日  
13:30-16:30  
対象: 中高生  
定員: 20名  
\*inovas見学 \*女性技術者社員との体験予備

**F** 実験結果をまとめて発表してみよう!  
大阪大学  
2023年3/18・19日  
対象: 中高生  
定員: 66名  
\*実験・実習とまとめ \*発表会、表彰式



## 5-1) これまでの活動実績

### ①参加のべ人数 (2019年度の例)

メインプログラム 参加人数 (人)		
女子 中高生	中学1年生	101
	中学2年生	76
	中学3年生	97
	高校1年生	149
	高校2年生	78
	高校3年生	3
	小計	504
保護者・引率教員など		270
合計		774

\* 新型コロナウイルス感染拡大により、F日程は中止となったため、F日程の参加予定者は上記参加のべ人数に入れていません。

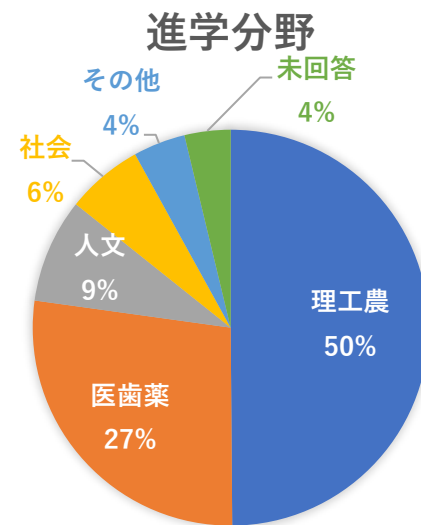
### ②参加者の分布

(2019年度の例)

メインプログラム 都道府県別 申込人数 (人)	
大阪府	265
兵庫県	151
京都府	72
奈良県	64
和歌山県	47
滋賀県	30
愛知県	8
三重県	7
岡山県	2
岐阜県	2
福岡県	2
香川県	1
石川県	1
福井県	1
合計	653

### ③関西科学塾卒業生 進路調査 対象：2021年3月までの卒業生 (回答者 399名)

◆進路結果  
約8割が理系進路選択  
理系選択者のうち、約7割が理学・工学・農学分野を選択





## 5-2) これまでの活動実績 (2021年度の例)

**メインプログラム**：理科好き層への働きかけ。興味の幅を広げる。より強い動機付けを与える。

科学技術や理科・数学に対する**興味・関心**が高まった **84%**

科学技術や理科・数学に対する**学習意欲**が高まった **85%**

**進路選択**の参考になった **89%**

将来、科学技術を必要とする**職業**に就きたいと思うようになった **76%**

- ・思っていた進路以外にも、興味深い分野がたくさんあることを知ることができた
- ・進路の決め方や勉強方法を学べた。何より自分の意志がはっきりと決まった。
- ・女性研究者の方のお話を伺うことができ、研究の現状とおもしろさについて知ることができた。
- ・美しい科学を知ることができた。普段からは考えられない物質の状態変化がおもしろかった！

**アウトリーチ**：理科好きの子どもを増やす。女子の理系進路選択への偏見をなくす。無関心層への働きかけ。

例) 2019年公立中学2年生に対する講座の効果 (女子)・文系のことしか考えてなかったので、話を聞いて良かった。

**理系進路**を選択しようと思う **28%→61%**

科学技術を要する**職業**に就きたいと思う **8%→34%**

- ・文理進路を迷った時の考え方が参考になった。
- ・理科が好きだけど点が取れないのであきらめていたが、頑張ろうと思いなおした。
- ・おもしろかった。もっと詳しく知りたい。





# 1) コンソーシアム設立の経緯について

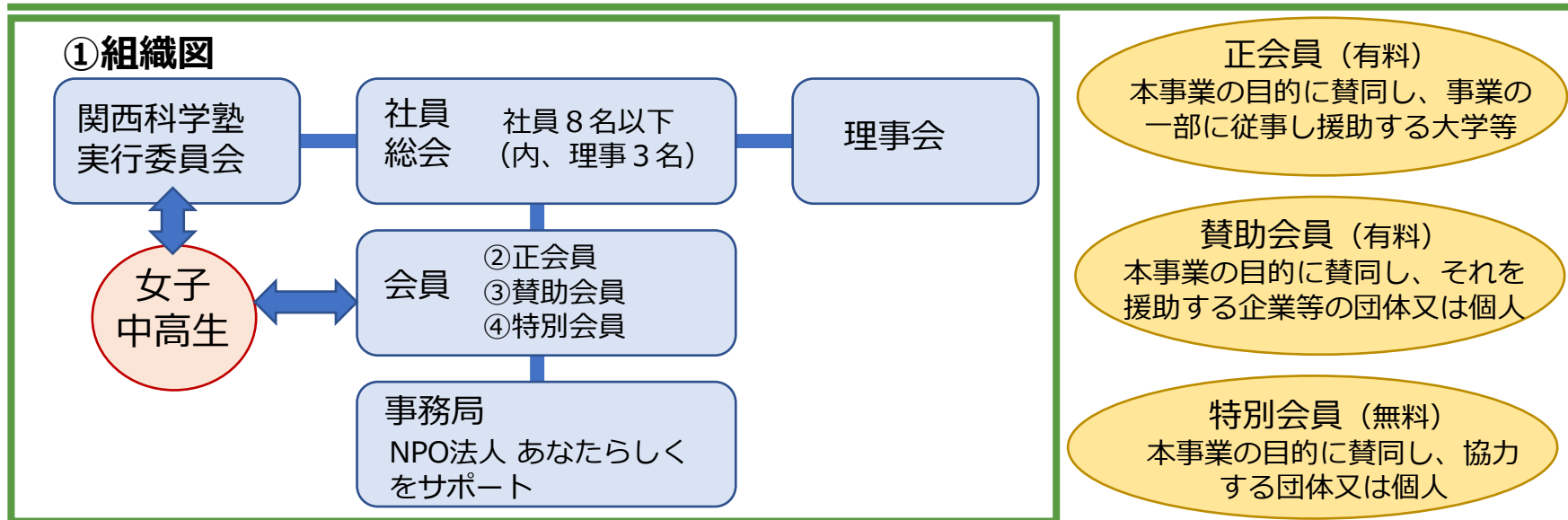
---

「女子中高生のための関西科学塾」の活動は、平成18年度から12年間、科学技術振興機構の支援を得て継続実施してきましたが、より安定的な運営を目指し、活動の理念に共感いただける企業等から資金提供を受けることとしました。

同時に、関西科学塾の活動をより充実したものにしていくことを目的とし、6大学を正会員とする「一般社団法人関西科学塾コンソーシアム」を組織しました。(2017年11月22日設立)



## 2) 運営組織



### ①理事長・社員

田島節子 (大阪大学名誉教授)

### 理事・社員

原田慶恵 (大阪大学蛋白質研究所 教授)

松岡由貴 (奈良女子大学大学院自然科学系 准教授、学長調査戦略室 副室長)

### 社員

近江戸伸子 (神戸大学人間発達環境学研究科 教授)

細越裕子 (大阪公立大学理学研究科 教授)

榎木英介 (近畿大学医学部附属病院臨床研究センター 講師)

### ④特別会員

相馬芳枝 (元神戸大学 特別顧問)

沖田知子 (大阪大学 名誉教授)

### ②正会員

大阪公立大学、大阪大学、  
神戸大学男女共同参画推進室  
奈良女子大学理学部

### ③賛助会員

ロート製薬 (株)、(株)ダイセル、  
昭和電線ホールディングス(株)、(公財)稲盛財団  
(株)ウィルウェイ、(株)ダイヘン、(株)フジキン  
中西金属工業(株)、(株)日本経済新聞社  
三井化学 (株)、日東電工 (株)  
(一社) 日本物理学会、ソーラボジヤパン (株)、  
JFEスチール (株)、日本ロレアル(株)、  
Faraday Factory Japan(同)、住友電工 (株)

### ●ご寄付

東洋アルミニウム (以上 2023年2月15日現在)



## 3) 賛助会員企業を募集する目的・理由

### <目的その1>

女子中高生が理系進路を選択しない理由の一つとして、「女子が理系分野を学んだ後」の職業イメージがつかみにくいことがあります。保護者や中高の教員についても同様の傾向がみられるため、大学等だけではなく、企業での活躍の場があることを知ってもらうことが必要です。テレビなどのCMが難しい“B to B”の企業をはじめ、多くの企業に活躍の場があります。それを知らせるため、企業が実際理系の女性研究者・技術者を多く採用していること、また彼女たちが企業で活躍していることを、企業から情報発信していただきたいと願っています。

女性研究者・技術者応援企業がたくさんあることは、女子中高生にとって、大きな励みになります。

### <目的その2>

賛助会員の会費や広告費という形で資金援助いただくことにより、自由度の高い活動を展開できます。

#### **可能な支援の形**

- 1) 科学塾HPで「理系女子中高生応援企業」として企業名を掲載
- 2) 会費（1口10万円）或は広告費という形での資金支援
- 3) 企業の理系女性技術者・研究者を講演会の講師として派遣、企業見学の受け入れ
- 4) 科学塾のイベント会場でのブース出展（企業及び女性研究者・技術者の紹介）
- 5) 女子中高生の研究発表会コンテストの副賞用グッズの提供



### 4) 賛助会員のメリット

---

- 参加者である女子中高生だけでなく、付き添いの保護者や中学高校の教員に企業の宣伝ができます。
- 学生実行委員である現役の女子学生・院生に企業の宣伝ができます。(就職先の候補にもなりえます。)
- 実行委員や活動に関わる大学関係者と情報交換ができます。
- チラシやHPなどを通して、一般の人に企業名を広報できます。(チラシは、例年近畿一円の中学・高校以外に、図書館など公的施設2600ヶ所、5万枚を配布しています。)
- 理系の女性技術者・研究者を増やし、女性の活躍を後押しするという社会活動に貢献する企業として、企業イメージのアップを図れます。



## 5) 「理系女子中高生応援企業」の募集

---

**賛助会員でなくても**、理系に進学しようとする女子中高生や、理系の研究者・技術者を狙っている女性学生を**応援して下さる企業・団体**は、ぜひ関西科学塾事務局にご連絡ください。

承諾書をお送りいたしますので、それを提出いただくことで、関西科学塾HPの「理系女子中高生応援企業・団体」のページに企業名・団体名を掲載させていただきます。(登録無料)

## 連絡先

---

関西科学塾コンソーシアム事務局

Email : [kkj@kansai-kj.org](mailto:kkj@kansai-kj.org)

HP: <http://www.kansai-kj.org/>

